

第4回ふれあい観察会

千城台・坂月川の冬鳥たち

松川 裕（四街道市）

日時：2011年1月29日（土）9：00～12：00

参加者：30名（うち子供3名）

コース：千城台駅→千城台野鳥観察園→坂月川→坂月川ビオトープ

指導員：岡田敬子、木下順次、坂本文雄、渋谷雄二、谷英男、芳我めぐみ、
松川 裕、和仁道大（事務局）、小西博典、晝間初枝、前田佳胤
千葉市環境保全推進課 長谷川係長、島係員

厳冬期なので、最高気温は8℃と上がらなかったが、風はほとんどなく、谷津ではむしろ暖かさを感じるほど穏やかな天候であった。

8時半に千城台駅下の駐車場に30名の方が集まった。1班(坂本・岡田)、2班(谷・木下)、3班(渋谷・芳我)、4班(和仁・松川)の体制で順次スタートをした。スタートの直後、近くの松林でビンズイ、千城台西小の校庭の真ん中でカワラヒワが20数羽採餌をしており、幸先の良さを感じたが、おむすび山と周辺の調整池では、シメ、ヤマガラ、モズ、ツグミ、アオジ、メジロなどの野鳥と、アオサギ、ダイサギ、マガモ、コガモ、カルガモ、ヨシガモ、ハシビロガモ、オカヨシガモなどのサギ、カモ類の他、バン、オオバン、カワセミ、セグロセキレイなども観察できた。途中モズ、ツグミ、シジュウカラなどが飛び交う谷津を通り、また、古い村落のお庭には梅が満開であった。旧街道と思われる3差路にはクレマブレ、道祖神などもあり、歴史の古さに思いをはせながら、坂月川下流の見晴らしの良い田園地帯にでた。ツグミ、ハクセキレイ、キジ、アカハラ、シロハラ、オナガなども見られた。そしてそれらを狙うオオタカ、ハイタカ、ノスリなども上空を舞っていた。

坂月川沿いの遊歩道は自転車も通らず実にのんびりと散策ができる良い道であるが、川にはコガモ、カルガモなどが我々の足跡に驚き何度も飛び立った。今年の「ふれあい観察会」でもタシギが見られた田んぼには、やはり今年も4羽のタシギがいた。タシギの薄褐色の羽の色は周りの土や草の色と非常に良く似ているうえ、昼間はあまり動かないので非常に見つけにくい鳥であるが、一度に4羽も観察できたことは珍しく皆さん大喜びであった。

坂月川の最上流のビオトープまで歩き、「鳥合わせ」をして解散した。観察できた鳥は41種とかなり多かった。

坂月川周辺の自然豊かな環境をいつまでも残したいと感じたのは私だけではなかったでしょう。

